

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 神奈川中央交通株式会社（証券コード:9081）

### 【据置】

長期発行体格付	BBB+
格付の見通し	安定的
債券格付	BBB+

### ■格付事由

- 神奈川県中部を主たる事業エリアとするバス会社大手であり、小田急電鉄の持分法適用関連会社。路線バスを中心とする一般旅客自動車運送事業と不動産賃貸業が業績を支えている。このほか、輸入車および商用車の販売を行う自動車販売事業なども手掛けている。17年1月に乗合バス事業の再編を実施し、当社を含む3社体制となった。
- 主力の一般旅客自動車運送事業では、乗合バスを中心に輸送人員が堅調に推移している。社有地の高度利用を目的とした不動産賃貸業によるキャッシュフローも安定している。中距離バスの路線開設による需要の掘り起こしなども進んでおり、当面は安定したキャッシュフロー創出力を維持可能と見られる。ノンステップバス保有率の増加に向けた車両代替などを中心に高水準の設備投資が想定されるが、おおむね営業キャッシュフローの範囲内と見られ、現状程度の財務内容は維持される見込みである。以上より格付を据え置き、見通しは安定的とした。
- 19/3期営業利益（会社計画）は59億円（前期比7.6%減）の見通し。一般旅客自動車運送事業では減価償却費や燃料費の増加により減益となるが、不動産事業でのマンション分譲などにより一定程度カバーされ、底堅い利益水準を維持できる見込みである。19/3期設備投資計画は車両代替の増加などにより156億円（18/3期74億円）と高水準であり、有利子負債は増加する可能性が高いものの、財務諸指標への影響は軽微と考えている。
- 21/3期を最終年度とする中期経営計画では営業利益69.5億円などの定量目標が示されている。一般旅客自動車運送事業での新規路線開設や不動産事業でのマンション分譲などにより収益基盤の強化を図る計画である。設備投資は3年間累計で431億円と前中期経営計画（16/3期～18/3期）の253億円と比較しても高水準であり、当面は有利子負債の減りにくい状況が想定される。ただEBITDAが安定していることから、有利子負債/EBITDA倍率は現状程度の水準を維持可能と考えている。

（担当）加藤 直樹・外窪 祐作

### ■格付対象

発行体：神奈川中央交通株式会社

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BBB+	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第1回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50億円	2014年12月3日	2019年12月3日	0.46%	BBB+
第2回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50億円	2015年12月9日	2020年12月9日	0.42%	BBB+
第3回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50億円	2016年12月7日	2026年12月7日	0.48%	BBB+

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2018年10月25日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也  
主任格付アナリスト：加藤 直樹
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 神奈川中央交通株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
  - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
  - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

## ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

## ■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

## ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル